

## 二子玉川エリアマネジメント



二子玉川エリアマネジメント

### 二子玉川かわのまちアクション



実施状況	助成区分	植樹	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙
状況①マルタウグイ産卵環境づくり:80人	状況②野川ベース(護岸)整備大作戦:80人(40人×2回)		活動の全体目標に対する達成度		100%

#### 活動目的

都心から至近距離にあり多摩川中流域の街である二子玉川は、野川と平瀬川が多摩川と合流する場所にあり国分寺崖線と等々力溪谷が形成する自然豊かな環境を有す。2015年に終了した再開発事業による大型商業施設開業以来、来街者と駅乗降客数は大幅に増え、駅に近接する水辺空間へのアプローチも多くなっていることから、水辺で過ごす人々が安全にそのアクティビティやレクリエーションを行う環境を提供することが重要である。

自然の恩恵について科学的な裏付けを得ながら、市民自身が環境保全活動に取り組む意識を促進し、水辺における安全な利用と防災への備えを啓発することも目的に含め「かわのまちアクション」を実施。当団体の公益還元活動として位置づけ、さまざまな背景を有する人々が、水辺公共空間に集い活動を共に行い交流し、さらにアイデアを共有する機会と場となることを目指す。

地域で活動する水辺環境の専門家を招いて地元の小中学生や大学研究生などの参加を積極的に募集し知識の共有・伝承を行っており、回を重ねるごとに親子連れや小学生の参加が増えた。今後は参加者による活動成果の対外的な発信と、多摩川流域同士の連携などへ繋げ「多摩川流域文明」の発祥を期待する。

#### 活動内容



水辺環境の保全や安全利用の意識をコミュニティメンバーおよび次世代へ伝承・啓発することを目的に、かわのまちアクションとして、以下の活動を行う:

- ①マルタウグイの産卵環境づくり(3月)
- ②野川ベース(護岸)整備大作戦(11月、6月)

#### 成果

二子玉川エリアマネジメントの公益還元活動と位置付けられている「かわのまちアクション」の最大の特徴と価値は、これまで地域で活動してきたNPOや個人の多摩川への環境保全・調和活動を、企業と行政も参画する「エリアマネジメント活動」として連携し、地域においてその意義をより広く周知・認識させる「プラットフォーム」となったことにある。HGF助成をいただいたことで、その活動をムービーと冊子に記録することができた。地域や今後参加を期待する人々への周知が可能になり、関心を引き起こすために有効活用する。協力・協賛者や次世代の子どもも含めた参加者を増やすことが持続可能な活動へとつながり、さまざまな立場や所属を越えて、互いの力をできる範囲で持ち寄るといふ「器」が生まれつつある。また、水辺という公共空間をまちづくりに組み込むことで二子玉川ならではの魅力を醸成するための前進の後押しとなった。

#### 工夫した点

できるだけ多様な層(産官学民子)からの参加を心掛けた。当活動を支持して下さる固定メンバーもさることながら、できるだけ気軽に、無理のない自分なりのペースでご参加いただけるようになることが、活動の持続性の担保となる。したがって、できるだけ広い範囲への事前告知と活動内容のシンプルさやフラットな関係性のある場づくりについては特に気を配った。また、活動の記録については、小学生の子どもたちにも理解しやすい記述を意識した。

#### 今後の課題

引き続き多様な層(産官学民子)からの参加を目指し、地域の活動として定着するようにしたい。そのためには、まずはスタッフの過重な負担を分担し、減らしていくことが最初の課題である。活動の趣旨に賛同し、スタッフとして関わる人を増やしていきたい。